

2019年度 事業報告

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業(WAC事業)・その他事業1・2》

- 公益目的事業：WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営
- その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分
- その他事業2：介護老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

*WAC(ウェルエイジングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

(1)奈良事業 (厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイ・アーク西大和】

- ・チランのポスティングや紹介キャンペーンを実施し、四半期ごとにショートレッスンを導入するなど地域会員数の増加に向けて注力しました。また、ランニング・マッサージマシンの入替や導入、シャワーームの改修工事により、ご利用者の満足度向上に努めました。
- ・エデンの園のご入居者では、7月以降の月間利用者数が前年度を上回るようになり、健康の維持・増進効果に繋がりました。
- ・しかしながら、新型コロナウイルスの感染防止対策として3月3日から臨時休業としたこともあり、会員数が減少し収益に大きく影響しました。

②診療所 (WAC第1号施設付置診療所) 【ニッセイ聖隷クリニック】

- ・外来は、『もの忘れ外来』を開始し、受診者の情報を地域包括支援センターと共有し、サービスの開始や見守りを行う運用を開始しましたが、まだ患者増には至っていません。また、ご入居者の利用増に伴い、定期健康診査の受診者数が大幅に増加となりました。
- ・入院は、終末期を迎える方に良い環境で過ごしていただきたいという思いから、2018年度に個室5床を改修して特別室とし、2019年度から個室料運用(3,000円/日)を積極的に行った結果、患者の満足度向上と収益確保に繋がりました。
- ・新型コロナウイルスの感染防止対策として、感染懸念のある方の入場を防ぐため、受付での対応方法や受診方法の周知徹底、面会の禁止等を行いました。

③高齢者総合福祉センター(WAC第2号施設) 【ふれあいプラザ】

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として2-3月の講座・催しのほぼ全てを中止とした影響で、講座開催数及び参加者数が対前年で減少しました。開催した講座のうち、5-12月の間に計4回実施した文化教養講座「オペラ茶論」はいずれも定員を上回る申込みがあり、講座内容も好評でした。
- ・ホールイベントは、台風によるまほろばホールでのコンサートの中止等もありましたが、SDGs講演会、音楽イベントを開催したことで、昨年度と同回数となりました。
- ・外出企画は「逍遥(しょうよう)の会」のバリエーションを増やし、奈良の寺院を巡る企画が好評でした。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護、福祉用具貸与・販売事業]

(WAC第3号施設) 【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンターヘル西大和店】

- ・訪問介護はご利用者の入院や施設利用により、利用者数、時間、回数が減少しました。福祉用具利用者は増加した一方で単価の高い収入が確保できなかったため、訪問介護収益全体で予算未達となりました。
- ・地域包括ケア会議、河合町ヘルパー連絡会などの各種会議に参加し、継続して連携に努めました。
- ・年度内の利用実績に関しては、新型コロナウイルスの顕著な影響はありませんでした。

⑤訪問看護ステーション [訪問看護事業] (WAC第3号関連施設) 【訪問看護ステーション西大和】

- ・長期利用者のご逝去や入院、施設入所等で利用終了が多くあり、訪問件数・利用者数は介護、医療保険扱い共に予算未達となりました。その中で、ご逝去された利用者に関わりのあった医療従事者が集まってケアの振り返りを行うなど、質の良いケアを提供することに努めました。
- ・年度内の利用実績に関しては、新型コロナウイルスの顕著な影響はありませんでした。

⑥ケアプランセンター [居宅介護支援事業] (WAC第3号関連施設) 【ニッセイせいれいケアプランセンター西大和】

- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、関係者と協働する中で、地域ケア会議への参加などにより、連携強化とケアマネジメントの質の向上を推進し、医療・介護・地域との連携を強化しています。
- ・在宅サービス室合同で、地域防災強化に向けて取り組んでいます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の伴い、特に2020年3月よりご利用者からの利用自粛や事業者からのサービス休止や受け入れ自粛などの影響が見られました。

⑦有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設) 【奈良ニッセイエデンの園】

- ・一般居室の新規契約戸数は契約ベースで20戸、退去が20戸(一般居室10戸、介護居室10戸)、介護居室への住替えが8戸ありました。結果、年度末の介護居室を含めた入居契約戸数は405戸(総戸数412戸)に対し入居率98.3%、入居者数517人)となり、引き続き高い入居率を維持することができました。(一般居室359戸/362戸(入居率99.2%)、介護居室46戸/50戸(入居率92.0%))
- ・ご入居者の平均年齢は82.3歳(男性81.1歳、女性82.8歳)となり、対前年+0.2歳でした。
- ・総入居者数517人のうち要介護等認定者数(割合)は年度末で140人(27.1%)となりました。
- ・ご入居者、ご利用者のその人らしい生活を支えるしくみ「エデン版地域包括ケアシステム(いきいき生活室)」の活動が定着し、入居者ボランティアグループ「虹のわ」の認知度も高まり、14名のご入居者が園内活動から河合町の地域活動へと幅を広げています。
- ・地域連携グループが中心になり、近隣住民・ご入居者等を対象に排泄介助・介護食をテーマに家族介護教室を年2回行い、参加者に高齢者理解を深める働きかけを継続して実施しています。
- ・世代間交流の取り組みとして、河合町立幼稚園へご入居者と訪問(6・10月)し、交流の場を持ちました。
- ・日本郵便の手紙文化振興企画に協賛し、町内小学校へのハガキ寄贈により、地域児童の言語活動充実に寄与することができました。
- ・4月から働き方改革法案が施行され、「働き方改革」「生産性向上についての意識改革」のため、職場長・役職者を中心に施設外ワークショップを実施しました。
- ・人財育成委員会が主導し、接遇マニュアルの改訂、各職場でチェックリストを実施、評価を行いました。
- ・感染症予防対策については、国内外における新型コロナウイルスによるパンデミックを教訓に、しっかりと振り返りを行い、マニュアルを作成するなど今後の対策に活かしていきます。

⑧老人保健施設〔介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション〕
(WAC付帯施設)【奈良ベテルホーム】

- ・「在宅強化型老健」を維持するために必要な基準を、年間通して達成することができました。入所、短期入所の稼働率は計画には届かなかったものの、昨年度よりも数値を改善ことができました。通所リハビリテーションは利用者の増加に向け様々な取り組みを行ったものの、上半期は利用者数増には至りませんでした。しかし、下半期はほぼ計画どおりの数値を維持することができたため、事業収入は対前年6.3%の収益増となりました。
- ・環境面は、居室のベッドを22台入替え、開設当初より使用していたベッド全ての更新が完了しました。
- ・2階フロアに設置しているピュアウオッシュャー(業務用加湿空気清浄機)による空気洗浄及び加湿の機器効果で、インフルエンザ、ノロウイルスの集団感染は発生しませんでした。
- ・地域ケア会議への参加や、ベテル単独での地域住民を対象にした介護予防教室の開催、河合町第3小学校児童との交流会を持つなど、地域との交流を積極的に行いました。
- ・認知症の理解と支えあい、助け合いの意識向上を目的とした月1回のイベント「認知症café」を継続実施し、認知症当事者とその家族、お元気な方との交流の場となっています。
- ・新型コロナウイルスの影響で利用者側からの自粛申し出もあり、利用者数減少の要因にもなりました。

(2)松戸事業

(厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸】

- ・2019年度は「施設美化」と「利便性のあるクラブ」をテーマに、クリーンアップ大作戦(4月・8月・12月・1月)、クールアクションイベント(7月～8月)、日帰りバスツアー(春・秋・新年)を実施し、多くの方から喜びの声を頂きました。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、3月3日から臨時休業としたため、会員の皆様から休会・退会の申し出が増加しました。

②診療所 (WAC第1号付置施設) 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

- ・入院時および退院時(病状改善時・退院前)に多職種カンファレンスを開催し、生活の場である居室退院へ向けた課題解決を継続して行いました。
- ・外来部門において内科外来だけでなく、皮膚科外来、整形外来も安定的に患者数を確保することができ、外来患者が増加しました。また、新型コロナウイルスの影響を勘案し、ご入居者で病状が安定している方が外部の病院に行かなくても良いように、当クリニックへの通院受け入れを行いました。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ニッセイ松戸アカデミー】

- ・「ニッセイ緑の財団」主催の森のめぐみに触れる活動の場として、間伐材を使用した「時計」作りやヒノキなどを使った「お正月飾り」作りをご入居者、近隣児童を対象に開催しました。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策の為、2020年2月中旬より全教室を休講としたため、利用者が昨年度比で307名減となりました。

④在宅介護サービスセンター〔訪問介護事業〕(WAC第3号施設) 【ニッセイエブelpoステーション】

- ・2006年7月にサービスを開始したご利用者が2019年夏にご逝去され、13年に渡り担当ヘルパーや介護支援専門員、関わったすべての介護・医療関係者の連携で、ご自宅で看取ることができました。このことを通じて事業所・介護員共に様々な経験ができたことは、大きな財産となりました。
- ・職員の新型コロナウイルスにおける感染予防策の実施は当然のこと、ご利用者やご家族にも「感染予防に関するお願い」を配布し、「感染しない、させない」ことに努めました。

⑤有料老人ホーム〔特定施設入居者生活介護事業〕(WAC第4号施設) 【松戸ニッセイエデンの園】

- ・一般居室の新規契約戸数は契約ベースで19戸、退去が26戸(一般居室11戸、介護居室15戸)、介護居室への住替えが12戸となりました。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約戸数は341戸(総戸数352戸に対し入居率96.9%、入居者数405人)となりました。(一般居室311戸/315戸(入居率98.7%)、介護居室30戸/37戸(入居率81.1%))
- ・入居者の平均年齢は85.0歳(男性84.0歳、女性85.4歳)となり、対前年+0.3歳でした。
- ・総入居者数405人のうち要介護等認定者数(割合)は、年度末で131人(32.3%)となりました。
- ・新型コロナウイルスの感染防止対策の為、年度末には介護予防活動をはじめとする園内行事を中止せざるを得ない状況となりましたが、対策が功を奏しご入居者、職員とも感染者は発生しませんでした。
- ・各課職場長が持ち回りでセミナー講師を担当するなど、施設全体で入居者募集に取り組むだけでなく、ホームページの更新頻度を高めて入居者募集ツールとしての質の向上を図りました。

II 調査研究事業 《 公益目的事業 》

(1) WAC事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

- ・『高齢社会における公共性の高い福祉サービス事業「あんしん電話」の包括的調査研究』<2017年10月～2019年9月まで>では、松戸市での「あんしん電話」による地域見守り活動を公共性の高い福祉サービス事業として捉えなおし、その事業概要と見守り活動の担い手の姿・見守りボランティアの育成を検証した事例研究を行いました。
- ・今年度よりセントラルスポーツと河合町の協力を得て、「歩行能力向上」を目的とする介護予防集団プログラムの実践的研究を新たに開始しました。2019年9月～11月に行ったニッセイ・アーク西大和を会場とする教室には合計34名の方に参加いただき、プログラムの効果性の検証にも取り組みました。
- ・奈良施設、松戸施設の各職場内で、高齢者への提供サービス等に関する調査研究及び学会を9・11月に開催し、その研究成果について地域住民や関係諸機関へ情報提供を行いました。
(社会福祉法人 聖隷福祉事業団及び一般財団法人 日本老人福祉財団との共同研究)

(2) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- ・11月の「介護の日」に奈良施設、松戸施設内でイベントを開催し、ご入居者や近隣にお住まいの高齢者及びそのご家族に、介護・医療・福祉の知識向上に向けた取り組みを実施しました。
- ・奈良施設、松戸施設各々で、地域住民や施設利用者とその家族向けに、認知症、転倒予防等をテーマにした講演会・教室を開催するなど、介護・介護予防に関する情報提供に努めました。
- ・奈良施設では、地元河合町が行っている介護予防リーダー養成講座「しゃきっと教室」に講師を派遣するとともに、地域における介護予防の普及に貢献する調査研究のあり方について検討を行いました。

III 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

- ・介護マンパワーの育成を支援する観点から、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士(2019年度より新たに追加対象)を目指す専門学校生等への奨学金助成を行いました。
- ・1人当たりの奨学金の金額は年間24万円(月2万円)、2019年度の支給者数は49人で、支給を受けた実人数は合計735人となりました。